



2020年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月3日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4361 URL <https://www.kawachem.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田吉隆
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 荻野幹雄 (TEL) 048-222-5171
 四半期報告書提出予定日 2020年4月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第1四半期の連結業績(2019年12月1日~2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第1四半期	1,721	△3.2	52	80.1	55	64.9	40	83.1
2019年11月期第1四半期	1,778	5.0	29	56.8	33	65.1	22	51.5

(注) 包括利益 2020年11月期第1四半期 36百万円(89.0%) 2019年11月期第1四半期 19百万円(44.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第1四半期	33.31	—
2019年11月期第1四半期	18.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第1四半期	7,285	1,948	26.7
2019年11月期	7,285	1,948	26.7

(参考) 自己資本 2020年11月期第1四半期 1,948百万円 2019年11月期 1,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年11月期	—	—	—	—	—
2020年11月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年11月期の連結業績予想(2019年12月1日~2020年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,700	△0.6	60	99.1	60	91.0	40	95.9	32.85
通期	7,600	1.5	180	△5.6	180	△3.9	130	△11.4	106.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社 除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年11月期 1 Q	1,220,000株	2019年11月期	1,220,000株
② 期末自己株式数	2020年11月期 1 Q	2,217株	2019年11月期	2,214株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年11月期 1 Q	1,217,783株	2019年11月期 1 Q	1,217,819株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、米中の貿易摩擦や中国をはじめとする東アジア諸国に広がる景気減速に加え、2020年に入り新型コロナウイルスによる経済活動への影響により、一層厳しい市場状況となりました。

当社グループに関係の深い自動車産業においては、自動車生産台数は日本国内だけでなく、中国をはじめ東アジア地区においても昨年を大幅に下回る状況となりました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、急激に変化する国内外の市場における需要変動への安定供給を積極的に進めるとともに、受託合成品ならびに品質・技術に優位性を持つ製品の製造販売に注力しました。

一方、生産においては、国内外市場からの原料の安定調達に注力し、生産と在庫の最適化によるコストダウンと経営資源の効率化を、販売・開発・製造のそれぞれの部門で進めました。

これらの結果、ゴム薬品並びに樹脂薬品は販売が前年同期を下回りましたが、中間体、その他薬品においてこれを上回らして、当第1四半期連結累計期間の売上高は17億2100万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は5200万円（同80.1%増）、経常利益は5500万円（同64.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4000万円（同83.1%増）となりました。

セグメント業績の概況は次のとおりであります。

① 化学工業薬品事業

売上高は17億1200万円（同3.2%減）、セグメント利益（営業利益）は4500万円（同108.0%増）となりました。

② 不動産賃貸事業

売上高は900万円（同0.2%減）、セグメント利益（営業利益）は700万円（同0.3%減）となりました。

(化学工業薬品事業の部門別の概況)

<ゴム薬品>

国内向けの工業用品向け薬品は、国内自動車販売や生産が前年同期を大幅に割り込んだうえ、海外市況の減速の影響を受けましたが、顧客需要動向への積極対応を行い、加硫剤と老化防止剤の売り上げが伸びた結果、国内全体では前年同期並みの売上となりました。タイヤ向け薬品は、海外品との競合が激しくなったことや、顧客の稼働減もあり、前年同期の売上を下回りました。合成ゴム向け薬品は、国内生産が低調に推移したことから、全体では売上が前年同期を下回りました。

海外向けは、中国の生産活動において新型コロナウイルスの影響を受けたことや、東南アジア諸国でも自動車生産が前年同期を下回ったことから、売上が前年同期を下回りました。

この結果、国内・輸出合わせてのゴム薬品の売上は10億3000万円（同9.6%減）となりました。

<樹脂薬品>

国内向けは、主要顧客であるアクリル酸・アクリル酸エステルが生産が低調で推移しました。このような中、顧客要望への対応の結果、当社の主要製品はやや販売が増加し、売上は前年同期を上回りました。海外向けは、顧客の需要減や為替影響により受注が減少し、売上は前年同期を下回りました。

この結果、樹脂薬品部門合計の売上は1億7000万円（同18.9%減）となりました。

<中間体>

界面活性剤中間体は、主要品目で販売増となり売上は前年同期を上回りました。染顔料中間体は、新規需要が前年と比較し低調で推移し、売上は前年同期を下回りました。農薬中間体は、主要品目において販売が復調した結果、売上は前年同期を上回りました。医薬中間体は、一部品目で受注増となりましたが、受注が取れなかった品目もあり、全体では売上は前年同期を下回りました。

この結果、中間体部門合計の売上は2億12百万円(同14.8%増)となりました。

<その他>

環境用薬剤は、需要が低調で推移したことから、売上は前年同期を下回りました。潤滑油向けは、販売増となった商品があったものの、主要顧客の生産が低調で継続し、全体では売上が前年同期を下回りました。新規用途向けは、一部商品は前年同期を下回ったものの、主要製品の需要増により、売上が前年同期を上回りました。

この結果、この部門合計の売上高は3億24百万円(同23.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては72億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。これは主に、たな卸資産が1億23百万円増加したことに対し、現金及び預金が16百万円、受取手形及び売掛金が67百万円、有形固定資産が36百万円減少したことによります。

負債につきましては53億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が増加したことに対し、未払金が34百万円、流動負債その他の未払費用が1億48百万円減少したことによります。

純資産につきましては19億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が増加したことに対し、その他有価証券評価差額金が4百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月期の連結業績予想につきましては、2020年1月15日に公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	397,320	380,424
受取手形及び売掛金	2,686,283	2,618,526
商品及び製品	887,515	990,686
仕掛品	355,755	374,024
原材料及び貯蔵品	304,236	306,089
その他	25,323	26,840
貸倒引当金	△4,566	△4,451
流動資産合計	4,651,868	4,692,140
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,208,030	1,189,790
その他(純額)	1,190,978	1,172,458
有形固定資産合計	2,399,009	2,362,249
無形固定資産		
その他	21,426	20,260
無形固定資産合計	21,426	20,260
投資その他の資産		
その他	214,968	212,922
貸倒引当金	△2,174	△2,174
投資その他の資産合計	212,794	210,748
固定資産合計	2,633,230	2,593,257
資産合計	7,285,099	7,285,398
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,264,394	1,230,441
短期借入金	1,960,000	2,160,000
1年内返済予定の長期借入金	50,408	34,442
未払金	306,615	271,759
未払法人税等	22,855	20,776
未払消費税等	—	29,492
賞与引当金	—	48,984
役員賞与引当金	12,000	3,000
その他	246,418	57,281
流動負債合計	3,862,692	3,856,177
固定負債		
長期借入金	903,312	899,976
役員退職慰労引当金	98,248	100,591
退職給付に係る負債	328,215	338,369
その他	143,885	141,497
固定負債合計	1,473,661	1,480,434
負債合計	5,336,354	5,336,612

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	1,260,911	1,264,937
自己株式	△7,746	△7,749
株主資本合計	1,921,603	1,925,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,930	19,721
為替換算調整勘定	3,210	3,438
その他の包括利益累計額合計	27,141	23,160
純資産合計	1,948,744	1,948,786
負債純資産合計	7,285,099	7,285,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年2月29日)
売上高	1,778,608	1,721,970
売上原価	1,489,739	1,393,491
売上総利益	288,869	328,478
販売費及び一般管理費	259,533	275,651
営業利益	29,335	52,827
営業外収益		
受取利息	140	132
受取配当金	1,129	1,126
貸倒引当金戻入額	2,286	115
受取保険金	1,937	3,559
その他	2,156	2,176
営業外収益合計	7,649	7,109
営業外費用		
支払利息	3,301	4,132
為替差損	—	559
その他	278	144
営業外費用合計	3,580	4,836
経常利益	33,404	55,099
税金等調整前四半期純利益	33,404	55,099
法人税、住民税及び事業税	11,368	16,667
法人税等調整額	△120	△2,126
法人税等合計	11,247	14,540
四半期純利益	22,156	40,559
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,156	40,559

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年2月29日)
四半期純利益	22,156	40,559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,785	△4,209
為替換算調整勘定	979	228
その他の包括利益合計	△2,805	△3,980
四半期包括利益	19,351	36,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,351	36,578
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,769,147	9,461	1,778,608	—	1,778,608
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,769,147	9,461	1,778,608	—	1,778,608
セグメント利益	21,777	7,558	29,335	—	29,335

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,712,532	9,437	1,721,970	—	1,721,970
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,712,532	9,437	1,721,970	—	1,721,970
セグメント利益	45,291	7,535	52,827	—	52,827

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。